第４３回（令和６年度）
柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球 卒業記念大会

優　勝　ミ ラ ク ル ズ
準優勝　ブラックサンダー
第三位　流 山 レ イ ソ ル
第三位　Ｔ　Ｒ　Ｙ　Ｇ



主催・主管　東葛地区親睦少年野球大会運営委員会
協　　賛　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟
後　　援　マルエス株式会社　株式会社 共同写真企画
　　柏リトルシニア野球協会　NER企画

ボールが飛んだ。こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

MARUS

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

マルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

第43回（令和6年度）柏シニア杯争奪
東葛地区親睦少年野球 卒業記念大会

目　　次

優勝旗・優勝杯＆トロフィ（写真）…… 1

第43回（柏シニア杯争奪）東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 成績表…… 2

大会概評 …… 3

ベスト4 チーム写真 …… 5

大会スナップ写真 …… 7

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 歴代ベスト4 …… 17

第43回（柏シニア杯争奪）東葛地区親睦少年野球卒業記念大会参加チーム … 19

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会のあゆみ …… 20

東葛地区親睦少年野球大会・開催要項（令和5年8月一部改正）…… 21

東葛地区親睦少年野球大会・役員名簿（令和5年8月一部改選）…… 23

第43回（柏シニア杯争奪）東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 会計報告 …… 23

※写真提供：NER企画及びベスト4チーム

大会優勝旗及びトロフィー





第43回 柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球 卒業記念大会 成績表



選手宣誓：TRYG

※サンライズレッズ辞退のため、代理参加

☆大会概評☆

ミラクルズが優勝に輝く

準Ｖはブラックサンダー　　三位は２チーム

第４３回柏シニア杯争奪東葛地区親睦少年野球卒業記念大会は、令和６年１２月１日（日）に柏リトルシニアグランドで開会式及び出場チームの練習体験会を行った後、８日から１４日と２１日の３日間にわたって、野田河川敷グランド及び柏リトルシニアグランド（最終日のみ）に於いて総数２７チームが出場して熱戦が繰り広げられた。

今年度は大会期間中の１２月１５日（日）が一部出場チームの都合で開催出来なかったため、最終日の１２月２１日は準決勝戦２試合と決勝戦を行い、三位決定戦は行わず準決勝戦で敗れた２チームが三位となった。

大会を振り返ると、開会式の当日は今や恒例となっている柏リトルシニアの練習体験会が、多数のチームが参加して行なわれ盛大にムードを高め、二日目から熱戦が繰り広げられた。

試合初日(１２月７日)の１回戦は、野田河川敷グランドの４面で合わせて１１試合を行った。初日から接戦が相次ぎ、全１１試合中何と７試合が２点差以内の勝負で、早くも大いに盛り上がった。ちなみに、１回戦で勝利したチームは、我孫子ＳＳＫ、大橋みどりファィターズ、流山レイソル、ブラックサンダー、ＴＭウエスタンズ、SBOX.、ＮＹブルースターズ、プリテイゴッドユニバース、ピープルスラッガーズ、ミラクルズ、ネイビーソックスの各チームで、地区別では流山地区が４チーム、柏地区３チーム、松戸地区１チームの割合。この日の試合のなかでは、大橋みどりファイターズ vs スーパーシャークス戦が３－３からタイブレークとなり.大橋みどりファィターズが特別回に２点を挙げて勝利した一戦が最も素晴らしかった。

初日シード山に当たった５チームを含めた１６チームで争われた１２月８日の２回戦８試合では、我孫子ＳＳＫ、流山レイソル、ブラックサンダー、野田ヴィクトリー、ＴＲＹＧ、プリテイゴッドユニバース、ミラクルズ、ネイビーソックスがそれぞれ勝ち進んだが、この中では流山レイソルと野田ヴィクトリー、我孫子ＳＳＫの３チームがそれぞれ１点差で勝利したほか、ブラックサンダー、プリテイゴッドユニバースは２点差で勝ち、これは出場したチームの実力が拮抗していたことを物語っていた。

１～２回戦を勝ち進んでいよいよ８チームによる３回戦（準々決勝戦）は、１２月１４日に４試合行われた。この日の試合のなかでは、ＴＲＹＧvs プリテイゴットユニバース戦が大熱戦だった。５－５からのタイブレークで、最終的にはＴＲＹＣが特別回に１点を挙げて勝利したが、この一戦はまさに手に汗握る大熱戦だった。

なお、この日まで順調に勝ち進んだのは、流山レイソル、ブラックサンダー、ミラクルズで、とくに快進撃が目立ったのはミラクルズだった。初戦こそ１点差勝ちだったが、２回戦から投打の足並みが揃って尻上がりに調子を上げて勝ち進んで来た。この結果、３回戦ではネイビーソックスに３点差で確実に勝利を収めてベスト４に進出した。

かくして栄冠の登竜門である準決勝戦に勝ち進んだのは、流山レイソル、ブラックサンダー、Ｔ

ＲＹＧ、ミラクルズの各チームで、最終日の１２月２１日（土）に柏リトルシニアグランドに於いて、栄冠を賭けて準決勝戦と決勝戦でそれぞれ激突した。

準決勝戦の第一試合は、今大会で旋風を巻き起こした流山レイソル対我孫子市の実力派ブラックサンダー戦で、流山レイソルが初回に３点を挙げて先行したが、ブラックサンダーが２回以降粘って反撃し、５回には逆転に成功して快勝した。

続いて行われた準決勝戦の第二試合は、一試合ごとに調子を上げて来たミラクルズが、打線の爆発などで初回から一回置きに得点を重ねて、大差の完封勝ちで決勝戦への進出を決めた。

決勝戦はブラックサンダーvs ミラクルズの対決で、前半の３回までは両チームとも点の取り合いで互角の展開だった。ミラクルズが２回に１点を先制すれば、ブラックサンダーは２回に先頭打者の四球から下位（１０番と１１番）打線の連続安打で２点を挙げて逆転した。しかし、ミラクルズはその裏二死走者無しから、１番打者有田の四球後、次打者北之防の三塁打で同点とするなど、両チーム一歩も譲らずの接戦だった。

試合を決めたのはミラクルズの４回の攻撃。この回から登板してきた相手の２番手投手から、この回の先頭打者５番の中村が二塁打を放ち、次打者が送った一死三塁は絶好のチャンスに、７番打者勝山が四球で出塁して二塁盗塁を決めてチャンスを拡大した。ここで８番打者澤出の内野ゴロでまず１点を挙げ、さらにその後９番川崎の内野安打で奪った２点目は、ミラクルズにとっては値千金だった。逆にブラックサンダーにとっては、この失点はかなりのプレッシャーとなった。

それでもブラックサンダーは頑張った。５回表無死二三塁から二死満塁のチャンスを築き、一打同点もしくは逆転の大チャンスを迎えたのだ。ここはミラクルズの投手（北之防）が頑張ってピンチを０点で切り抜けたのが素晴らしかった。

結局この試合は、ミラクルズの４回の攻撃と、５回のピンチを死守した攻防の成果が勝因となったが、決勝戦に相応しい好試合だった。

なお、今大会でのミラクルズの優勝は、平成元年度、令和元年度に続いて今年度が３回目である。

以下は準決勝戦からの成績

★準決勝戦　１２月２１日（土）　柏リトルシニアリーググランド

流山レイソル	３	０	０	＝ ３
ブラック サンダー	０	１	０	１２Ｘ ＝ ４

▽審判：球審・柳（ＳＢＯＸ）　塁審・川崎（ミラクルズ）、佐々木（ＳＢＯＩＸ）
髙田（ＴＲＹＧ）

★準決勝戦　１２月２１日（土）　柏リトルシニアリーググランド

ミラクルズ	１	０	３	０１３ ＝ ８
ＴＲＹＧ	０	０	０	０００ ＝ ０

▽審判：球審・田中（流山市少年野球連盟）　塁審・原（流山レイソル）、
小二田（流山市少年野球連盟）、山崎（ブラックサンダー）

★決勝戦　１２月２１日（土）　柏リトルシニアリーググランド

ブラック サンダー	０	０	２	０００ ＝ ２
ミラクルズ	０	１	１	２０Ｘ ＝ ４

▽審判：球審・村松（柏リトルシニア）　塁審：猪爪、吉田、崎濱（各柏リトルシニア）



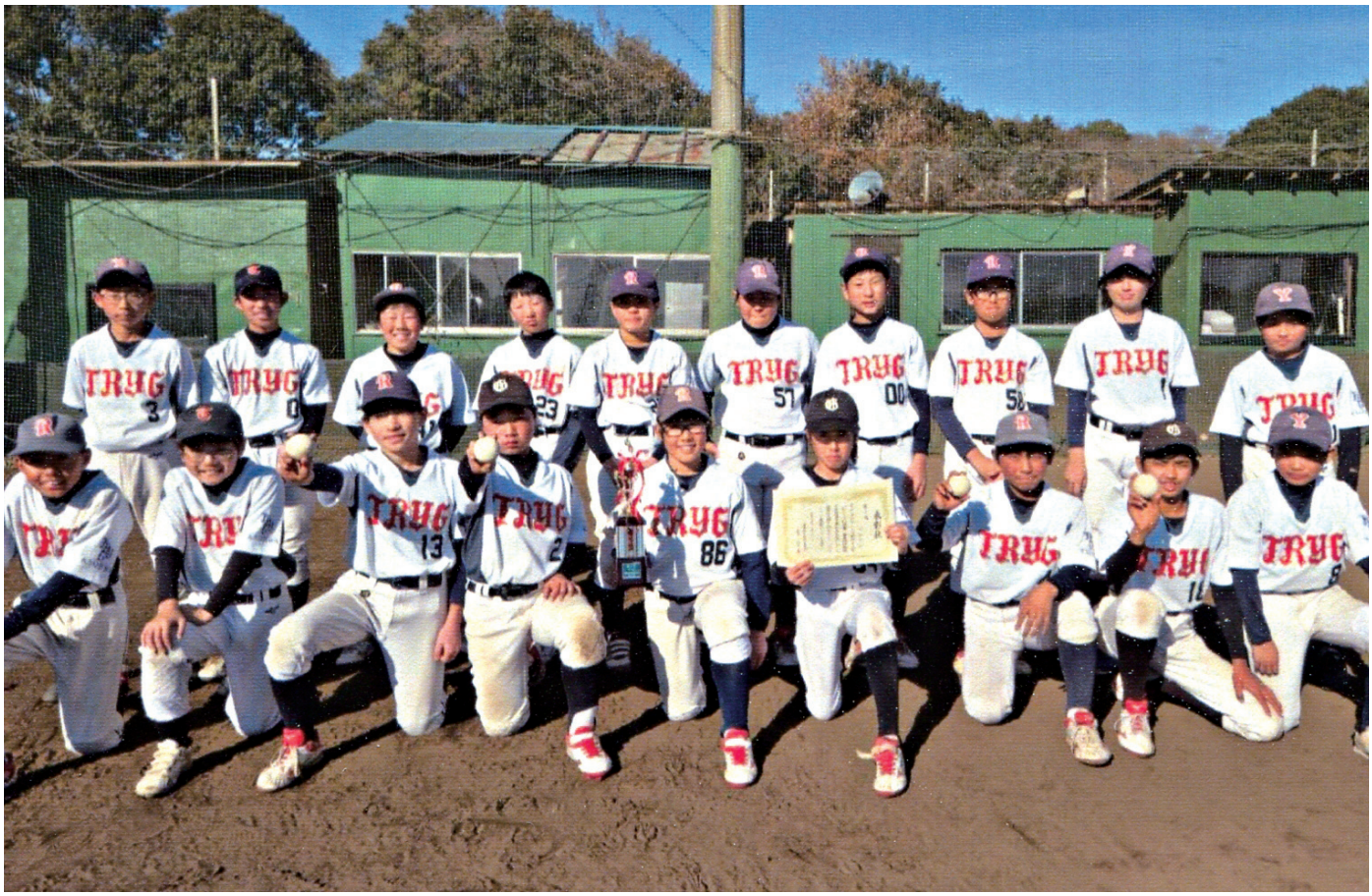
優勝　ミラクルズ



準優勝　ブラックサンダー



第三位　流山レイソル



第三位　ＴＲＹＧ

開会式

令和6年12月1日
於：柏リトルシニアグランド



挨拶する
柏リトルシニア監督



柏リトルシニア
コーチ陣



先鞭から一言



出場チーム整列！



前年度優勝チームからの
優勝旗の返還





山田会長



選手宣誓！



熱戦

スナップ!!












RIO
25
















TAIGA
0















受賞スナップ

令和6年12月21日
於　柏リトルシニアグランド



優勝
ミラクルズ




















表彰状




第43回柏シニア杯争奪
東葛地区親睦少年野球
卒業記念大会



東葛地区親睦少年野球卒業記念大会
歴代ベスト4

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位	第四位
1	1982 昭和57年	32	トライスター （柏）	リトルジャガーズ （我孫子）	伊勢原ジャガーズ （柏）	久寺家エラーズ （我孫子）
2	1983 昭和58年	34	沼南フラワーズ （沼南）	初石クーガーズ （流山）	春日フェニックス （野田）	カージナルス （流山）
3	1984 昭和59年		資料紛失につき不明	資料紛失につき不明	宮園イーグレッツ （流山）	江戸川台アトラス （流山）
4	1985 昭和60年		名戸ヶ谷アトミック （柏）	布施リトルジャイアンツ （柏）	資料紛失につき不明	資料紛失につき不明
5	1986 昭和61年	32	高野台ジャガーズ （柏）	布施リトルジャイアンツ （柏）	ドラゴンZ （沼南）	タイタンズ （流山）
6	1987 昭和62年	32	向小金ファイターズ （流山）	四小＆柏友 （柏）	西原アローズ （柏）	増尾クラブ （柏）
7	1988 昭和63年	28	増尾クラブ （柏）	千代田ファイターズ （柏）	江戸川台アトラス （流山）	伊勢原ジャガーズ （柏）
8	1989 平成元年	31	流山ミラクルズ （流山）	つくしアトミック （柏）	松葉ニューセラミックス （柏）	清水タイガース （野田）
9	1990 平成2年	27	流山ホークス （流山）	南部小 （鎌ヶ谷）	道野辺ファイターズ （鎌ヶ谷）	レッドファイターズ （野田）
10	1991 平成3年	32	高野台ジャガーズ （柏）	長崎ライオンズ （流山）	ありんこアントス （流山）	沼南フラワーズ （沼南）
11	1992 平成4年	36	ABF （柏）	千代田ファイターズ （柏）	向小金アントス （流山）	リアノス （柏）
12	1993 平成5年	36	西平井パワーズ （流山）	流山ミラクルズA （流山）	流山南部 （流山）	増尾オールスターズ （柏）
13	1994 平成6年	38	中原ツインズ （柏）	新松戸スターズ （松戸）	梅郷パワーズ （野田）	トライスター （柏）
14	1995 平成7年	40	流山レイソル （流山）	ありんこアントス （流山）	南部少年野球クラブ （鎌ヶ谷）	流山ミラクルズ （流山）
15	1996 平成8年	33	光シャークス （柏）	柏ボーイング＆トライスター （柏）	流山レイソルA （流山）	小金原ビクトリー （松戸）
16	1997 平成9年	23	清水タイガース （野田）	ダイナマイトツインズ （野田）	スーパースターズA （流山）	サクセス （流山）
17	1998 平成10年	31	柏ボイジャー （柏）	ミラクルズ （流山）	松葉ニューセラミックス （柏）	常盤平メッツ （松戸）
18	1999 平成11年	29	千代田ヤンガーズ （柏）	増尾オールスターズ （柏）	清水タイガース （野田）	長崎FLB （流山）
19	2000 平成12年	25	流山レイソル （流山）	ダイナマイトスターズ （野田）	ファイヤーブレーブス （流山）	スーパーシャークス （柏）
20	2001 平成13年	23	ジュニアファイターズ （流山）	千代田ファイターズ （柏）	北柏スーパーナイン （柏）	ダイナマイトスターズ （野田）
21	2002 平成14年	27	ファイヤーブレーブス （流山）	ウルトラジャイアンツ （流山）	花井ヤンキース　（野田） 柏スーパーエース　（柏）	※都合により三位決定戦は、行われませんでした。
22	2003 平成15年	27	ファイヤーブレーブス （流山）	高野台ファイターズ （柏）	ジュニアファイターズ （柏）	ミラクルズ （流山）
23	2004 平成16年	24	千代田ゴールデンドリームス （柏）	ミラクルズ （流山）	柏フォーセブン （柏）	松葉ニューセラミックス （柏）
24	2005 平成17年	26	グレートレイソルー （流山）	中松ボンバーズ （我孫子）	流北フレンズ （流山）	千代田ニューセラミックス （柏）
25	2006 平成18年	32	ジュニアファイタ　ズ （流山）	リトルジャガーズ （我孫子）	加岸ベアーズ （流山）	ミラクルズ （流山）
26	2007 平成19年	33	大津ヶ丘ファイターズ （柏）	フォーセブン （柏）	ジュニアファイターズ （流山）	千代田ファイヤーズ （柏）
27	2008 平成20年	30	松葉ニューセラミックス （柏）	南部レッドヤンキース （野田）	八木ジュニアファイターズ （流山）	山崎タイガースA （野田）

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位	第四位
28	2009 平成21年	29	ＮRJ （柏）	東深井ファイナルズ （流山）	ジュニアファイターズ （流山）	ブラックホークス （我孫子）
29	2010 平成22年	33	松葉ニューセラミックス （柏）	BLDスターズ （野田）	新富少年野球部 （柏）	我孫子リトルイーグルス （我孫子）
30	2011 平成23年	32	流山マリンベアーズ （流山）	ボンバーズ （我孫子）	高野台ジャガーズ （柏）	松葉ドリームス （柏）
31	2012 平成24年	28	流山ルーキーズ （流山）	流東ウィングス （流山）	フレンズ （柏）	流山マリンベアーズ （流山）
32	2013 平成25年	27	野田南部Y （野田）	流南キャノン （流山）	SBOX （柏）	流山Fマリンーズ （流山）
33	2014 平成26年	30	加岸ジュニアファイターズ （流山）	ミラクルズ （流山）	シャークスボーイズ（流山） 東部フェニックス（野田）	
34	2015 平成27年	21	フォーセブン （柏）	野田ベスト （野田）	豊上ヤングスターズ （柏）	リトルレジェンス （我孫子）
35	2016 平成28年	18	野田南部 （野田）	ゴッドスピリッツ （我孫子）	ブラックサンダース （我孫子）	流山ルーキーズ （流山）
36	2017 平成29年	16	野田南部Y （野田）	野田ドンキーズ （野田）	我孫子ブルーシャークス （我孫子）	ミラクルズ （流山）
37	2018 平成30年	14	清水タイガース （野田）	ダイナマイトスターズ （野田）	流山レイソル （流山）	野田南部 （野田）
38	2019 令和元年	16	ミラクルズ （流山）	SKフェニックス （我孫子）	SBOX（柏） 野田ベスト（野田）	
39	2020 令和2年	24	東深井ボーイズ （流山）	新柏ツインズ （柏）	野田ベストR2 （野田）	アドウィンクラブ （柏）
40	2021 令和3年	23	八木南クラブ （流山）	ミラクルズ （流山）	松戸ゴールデンファイターズ （松戸）	松戸FTS （松戸）
41	2022 令和4年	18	MTJウェスタンズ （柏）	ブラックサンダース （松戸）	牧の原ジュニアーズ （松戸）	野田ヴィクトリー （野田）
42	2023 令和5年	21	流東ウィングス （流山）	野田南部2023 （野田）	ドリームパイレーツ （松戸）	野田ヴィクトリー （野田）
43	2024 令和6年	27	ミラクルズ （流山）	ブラックサンダー （松戸）	流山レイソル（流山） TRYG（柏）	

※第21回大会と第33回大会と第38回大会と第43回大会は、日程の都合により三位決定戦は行わず、2チーム同成績となりました。



第43回（柏シニア杯争奪）
東葛地区親睦卒業記念大会参加チーム

地区とチーム名	構成チーム名
◆我孫子地区⑤	
我孫子ＳＳＫ	新木野コンドル、布佐スパイダーズ、湖北台スパローズ
ブラックサンダー	サンスパッツ、ブラックタイカース、リトルジャガーズ
湖北フレンズ	単独
ホワイトキングファィターズ	白山クラブ、リトルキング
プリテイゴッドユニバース	ブラックバード、リトルイーグルス
◆柏地区⑦	
加賀ファイターズ	加賀シャトルズ、千代田ファイターズ
ＴＭウエスタンズ	松葉ニューセラミックス、トライスター
ＳＢＯＸ	北柏スーパーナイン、柏ボーイング，大船コンドルズ
フォーセブン	四小地区少年野球クラブ、豊四季イーグルス、若草、イリヤーズ
スーパーシャークス	光ケ丘シャークス、スーパーフェニックス
ネイビーソックス	柏ドリームス、小金原ビクトリー
ＴＲＹＧ	増尾レッドスターズ、柏南ギャランツ、新柏ツインズ、柏ヤンガーズ
◆流山地区⑦	
ミラクルズ	流山ホークス、カージナルス、
流山レイソル	流山シャークス、初石クーガーズ、
グリフインボーイズ	東深井ボーイズ、江戸川台フェニックス，小田急ライオンズ
流東ウイングス	向小金ファイターズ、ありんこアントス
ＮＹブルースターズ	長崎ＦＬＢ、八木南クラブ
マリンベアーズ	流山マリーンズ、加岸ベァーズ
パープルスラッガーズ	鰭ヶ崎ジュニアフインズ、南流ファイターズ
◆野田地区④	
野田ベスト２０２４	清水タイガース、柳沢ロッキーズ、レッドファイターズ、
野田南部Ｙ	西新田クーガーズ、南部ルーキーズ、野田ブレーブス中地
野田南部Ｋ	野田ブレーブス中地、西新田クーガーズ、南部ルーキーズ
野田ヴィクトリー	野田ドンキーズ、野田ジャガーズ、中根ヤンキース
◆松戸地区③	
大橋みどりフィターズ	単独、
サンライズレッズ	常盤平ボーイズ、八柱サンジュニアーズ、ジュニアナインズ
ファンタステックモンスターズ	五香メッツ、双葉
◆三郷地区①	
フルーヤントリー	三郷ヤンガース，新和ヴィクトリー、三郷ブルーエンジェルス

東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和５１年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の各少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として産声を挙げる。発足の動機は、出場チームの殆どが各市町の大会では早々と敗退してしまうケースが多く、そのため夏休みの期間を持て余していたことから、流山市の流山バード（後のカージナルス　代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、柏市の川長コイズ（後のブルーファイン　代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などが発起人となって、我孫子市のチームにも呼びかけて１４チームで第一回大会を開催。以降、毎年８月中旬の三日間に実施してきた。グランドは当時柏市議会議員であった松崎公昭氏（元カリフ少年野球大会会長で元衆議院議員）の協力を得て柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日と日曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿って来たため、昭和５６年から昭和ゴムが主催しているＳＧ大会と提携して、同社のグランドを大会の専用会場とし、開催期間も毎年８月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

ちなみに、当大会はそれまで発足当初より長瀬ゴム工業（健康ボール）及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごうほかのスポット後援があったが、昭和５９年の躍進記念大会（出場は６１チームで二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が検討され、昭和６０年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間昭和５７年に鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場があり、６０年には出場チームの総数が６２に達した。また、５９年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京葛飾区などからの特別参加チームもあり、規模の拡大をみるとともに大会は益々隆盛を極めた。しかし、ここ数年は大会の運営上の問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間に大会が重複）などが原因で、近隣地区からの出場チームが減少して総数３０チーム前後から、平成２５年度以降はさらに減少の一途を辿って来た。

なお、当大会は出場チーム及び同関係者の自発的協力により役員組織（運営委員会）を構成、運営しているプライベート大会で、各市町の教育委員会ほか公共団体の支援は受けてないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業、野球サークルなどには、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏が中心となって、発足当初より歴代役員が一貫して実務を担当しているが、近年は各市町の少年野球連盟役員も自発的にこれを支えて、さらに体制が確立されてきた。会長は、昭和５１年から５４年までは角谷正一氏（上記及び割烹川長社長）、５５年から５７年までは鈴木　昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、５８年から６１年までは相馬義明氏（元沼南町少年野球連盟会長）がそれぞれ歴任し、６２年から山田晃一氏が就任して現在に至っている。

毎年１２月に開催している冬季大会は、平成５７年に卒業記念大会として６年生だけ（チームの編成は他チームとの混成も可）が出場する大会で近年定着している。

平成１０年から一時日本マクドナルド東葛地区各店の後援（後に辞退）があり、大会開催時に写真撮影などに常時協力してくれていた共同写真企画も、平成１４年から正式に後援に加わった。さらに平成１６年から朝日スポーツキッズも後援に加わり、同年から冬季大会のみ柏リトルシニア野球協会も協賛に加わって、以降冬季大会だけは頭に「柏シニア杯争奪」を呼称することとなった。

なお、昭和６０年から大会使用球で後援してくれていた昭和ゴム（ＳＧボール）は、ボールの生産を中止したため、平成１８年から新たにダイワマルエス（マルエスボール）が代わって大会の正式な使用球となった。

令和元年から夏季大会のみブロックリーグ戦形式に変更され、開催時期も８月から７月に改められたが、さらに令和２年度からは６月中旬から８月初旬にすることが決定した。

東葛地区親睦少年野球大会開催要項（令和６年７月一部改正）

大　会　名　　夏季:関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会
冬季:柏シニア杯争奪 東葛飾地区親睦少年野球卒業記念大会

主催・主管　　東葛地区親睦少年野球大会運営委員会

後　　援　　マルエス株式会社（マルエスボール）　関宿ライオンズクラブ
柏リトルシニアリーグ協会、流山ボーイズ（全日本ボーイズリーグ加盟）
株式会社共同写真企画

開催期間　　夏季大会　令和元年度より従来のトーナメント制から参加チームを複数に分けて、６月下旬からブロックリーグ戦を行い、首位チームが７月下旬にトーナメント制で決勝大会を行う方式に改正。
冬季大会　全試合トーナメント制で１２月の第一土曜日を初日として１２月中に終了させる。

出場資格　　夏季大会は３年生以上６年生までの単独Ａチーム。冬季大会は全員６年生のみで、単独チームで出場出来ない場合は、５チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、同一チームで２チームの出場も可。出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても可。選手のほか介護員（女性２名）のベンチ入りも認められる。

試合方法　　夏季大会①参加全チームを複数（６～８）のブロックに分けて、それぞれのブロックで総当りリーグ戦を行い、首位チームのみが決勝大会に出場出来る。

②リーグ戦の成績は勝ち点の最も多いチームを上位とする。ちなみに勝ち点は勝利２点、引き分け１点、敗戦０とする。

③リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。

１．対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。それでも同じ場合は抽選で決定する。

２．但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得失点差で上回っても、３チームでの最下位となる。

④全試合６回制で試合時間はシートノックを除き１時間３０分。６回に達しなくても試合は時間を優先する。**リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。但し、決勝大会はトーナメント制で行われる場合は全試合コールドゲーム（４回以降７点差、）の適用がある。**

⑤６回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分けとし、延長戦は行わない。但し、決勝大会に限っては特別ルール（一死満塁で継続打者）を適用して勝敗を決める。なお、特別ルールの延長回は２回までとし、それでも決着がつかない場合は抽選で決定する。

⑥令和６年より投手の投球規定回数を３回までとし、一試合の投球数も７０球までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

順位の決定　平成２６年度よりブロックリーグ戦の順位決定は勝率制を廃止し、勝点制に改める。勝点は上記した如く勝利が２点、引き分けが１点、敗戦０点とし、最も勝ち点の多い場合を上位とする。勝点が同じ場合は対戦勝者を上位とする。

審判当番　リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決定する。決勝大会については、原則として役員が担当するが、後援団体及び出場チームに協力を仰ぐ場合もある。

ブロック長　リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時に、リーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。

事務局：平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２
小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９

報告は出来るだけＦＡＸでお願いいたします。
試合の結果はホームページ（担当：小泉）に掲載されます。
リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合って決めてください。近年出場チームの多くが他の大会と掛け持ちのケースが増加していますので、ブロックリーグの日程消化は出来るだけ早め(抽選会後直ちに始めても可)にお願いします。**ブロック長に一任して決定した日程を２試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格**となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗（得点は（０－１５）となりますので、この点をブロック長は各チームに説明し徹底するようお願いします。**他大会と掛け持ちで大会の日程消化に支障を来たした場合も同様**とします。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。

会費　１チーム　５０００円（抽選会の時に納入する）

提出書類　抽選会の時に出場チームは連絡責任者（名目上の代表者は不要）と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、ＴＥＬ、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。

表彰　優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞のみ。個人賞は原則としてないが、後援団体から申し出があったものは、この限りに非ず。

付記事項　開会式には、各チームとも必ずプラカード（規格は自由）を持参して下さい。団旗の持込も歓迎します。
近年**他大会との重複による出場チーム**が増加していますが、その場合当該チームは**大会の日程消化に支障を来たさないように、とくに努力して下さい。**
上部大会とくに県大会と重複した場合は予め調整するが、その他の大会との重複の場合は当大会への出場を優先してください。出場出来なかった場合は不戦敗とします。

東葛地区親睦少年野球大会　役員

（令和６年７月一部改選）

会長	山田晃一	流山	柏流さよなら少年野球大会会長
副会長	平田宗久	流山	千葉県少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務			流山少年野球連盟役員
副会長	堀江速人	野田	野田市少年野球連盟会長
事業部長	小泉博康	流山	流山市少年野球連盟役員
事業副部長	八鍬昌次	流山	流山市少年野球連盟役員
運営委員	松本秀樹	流山	江戸川台フェニックス
運営委員	亀田成美	流山	流山ホークス
運営委員	西ケ迫勝宏	流山	流山市少年野球連盟役員
運営委員	相原次郎	野田	野田ドンキーズ
運営委員	内田欣也	野田	野田市少年野球連盟役員
運営委員	山本拓	野田	野田市少年野球連盟役員
運営委員	池田進一	柏	柏市少年野球連盟役員
夏季大会会計兼務			
運営委員	寺田周一郎	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	柿崎稔	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	小田部英彦	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	濱田健	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	上村茂樹	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	我妻和憲	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	内山淳	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	柴田清光	松戸	松戸市少年野球連盟役員
顧問	河井哲弥	野田	関宿ライオンズクラブ特別顧問

第43回　東葛地区親睦少年野球卒業大会　会計報告

◆収入の部　　合計　￥　134,658

大会参加費	@5,000×27チーム	￥ 135,000
柏リトルシニア		￥　30,000
コントリビュート援助金		￥　30,000
第42回繰越金		▲￥　60,342

◆支出の部　　合計　￥162,877

＊大会運営費	￥　50,000
抽選会会場費 (柏流さよなら大会と同時開催)	￥　0
試合用ボール代　(10打)	￥　50,000
＊賞状･トロフィー代	￥　42,877
賞状	￥　10,000
トロフィー代	￥　19,910
シニア杯レプリカ	￥　11,594
プレート修正代	￥　1,373
＊資料代	￥　55,000
冊子データ作成費	￥　50,000
編集費　(山田氏)	￥　5,000
＊審判員及び役員昼食代	￥　15,000
※　12/14･12/21　ほか	

収入 ￥134,658円－支出 ￥162,877円=収支合計　▲￥28,219円は第44回大会に繰り越します。

令和7年12月21日　会計担当　　平田　宗久

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・イベント・その他撮影承ります。

NER企画

〒270-1121 千葉県我孫子市中峠1604-90

TEL&FAX
04-7197-0115

緊急連絡先
070-5464-4481

選手の皆様、ご出場おめでとうございます

CONTRIBUTE

Character goods Producing Company
for the All Supporters

NO SPORTS NO LIFE

お客様の「思い出」を《かたち》に

大会記念品、オリジナルグッズのご要望は...

●大会記念オーダーシート送り先
FAX:　03−5247−1998
MAIL:　info-cnbt@sweet.ocn.ne.jp
〒132-0035　東京都江戸川区平井6-57-3-1F
株式会社コントリビュート　TEL:03-6675-2505

WELCOME TO KASHIWA 2025

▼直近成績
東日本選抜野球大会出場in北海道
千葉日報杯新人大会 5位
CHIBA LOTTE MARINES CUP ベスト8
読売新聞社杯 ベスト8
第4回浦安市長杯 優勝
東関東支部春季大会 ベスト8

Instagram 柏リトルシニア【公式】 検索



お問い合わせ

【総監督 池端】 080-6920-9060

【事務局長 立松】 tatema2@gmail.com

グラウンド住所

〒270-1445 千葉県柏市岩井８５４

ホームページはこちら